

にほんまつ

# 市議会だより

第58号

3月定例会

令和2年5月1日発行  
(2020年)

発行:二本松市議会

編集:議会だより編集委員会

写真提供:二本松カトリック幼稚園

予算審査特別委員会……P.2～3  
定例会概要……………P.4～5  
代表質問・一般質問……P.8～14

# 生きがいのあるまちづくりのための予算を可決

## 予算審査特別委員会で新年度予算案を審査



予算審査特別委員会全体会の様子

新二本松市総合計画最終年度となる令和2年度の予算を予算審査特別委員会で審査しました。予算の決め方や使われ方について、当局への質問と委員間での討議が行われました。審査の一部を紹介します。

### 問

安達地方特別支援学校敷地としての旧建設技術学院の解体について、具体的にはどのような内容を実施するのか。また、いつごろまでに完了するのか

### 財産管理

**答** 実施設計業務と解体工事を合わせて約2億4,100万円の予算となっているものであり、解体する建物は、体育館、校舎、宿舍、教員住宅等の建物を解体するもので、取り壊し予定の面積は、2,760.9㎡である。また、年度早々に実施設計業務委託の発注を行い、目標としては令和2年度中に事業を完了することで予定している。

### 問

雇用による就業が著しく困難な生活困窮者に対しての指導・訓練を行う就労準備支援事業費の800万円はどのように使われるのか

### 就労準備支援

**答** 就労につながる準備支援プログラムを対象者ごとに作成し、それに基づき基本的な生活習慣を整える生活自立に関する支援、就労段階として必要な社会能力を身につけるための社会自立に関する支援、一般就労に向けた具体的な指導・訓練としての就労自立に関する支援に要する費用などであり、そのほとんどが人件費である。

### 問

令和3年度と令和4年度において施設整備工事の計画を進めるに当たり、3年間の継続費を計上することは、予算措置上問題ないのか。また、約10億円を超える予算の財源は

### 芝生広場整備

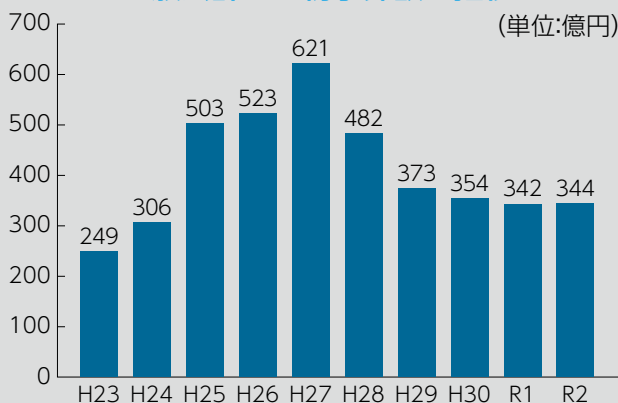
**答** 全体事業費について、令和2年度から令和4年度まで約10億円と見込んでおり、継続費の予算措置については、問題ないと考えている。また、この事業の財源については過疎債を活用して進めていきたいと考えている。

### 予算規模

会計区分	令和2年度予算額	令和元年度予算額	比較
一般会計	34,443,597	34,204,451	239,146 (0.70%)
特別会計	12,215,590	13,122,425	▲906,835 (▲6.91%)
企業会計	4,962,497	3,235,956	1,726,541 (53.4%)

※令和元年度まで特別会計であった岩代簡易水道事業、東和簡易水道事業、安達下水道事業、岩代下水道事業は、令和2年度より企業会計に移行します。

### 一般会計の当初予算額の推移







芝生広場として整備予定の杉内多目的広場



安達地方特別支援学校として整備予定の旧建設技術学院跡地

**問**

検討会の委員の構成メンバーと今後の見通しは

**学校適正規模等調査**

**答** 検討会の委員は、学識経験者として福島大学の先生4名、保護者代表としてそれぞれのPTA会長6名、学校関係者として学校長幼稚園長6名、地域関係者としてそれぞれの地域の区長会の副会長4名、合わせて20名で構成している。今年度中にアンケート調査項目の検討を予定しており、令和2年度は、調査結果の集計、内容を考察しながら、市民の意見、意向を示して、再度意見をもらう予定である。適正規模の考え方をまとめた後に、審議会に移行し、学校の姿はどうあるべきか、というところについて検討いただきたい。

**意見** 地域住民の合意がなければ進められないので、十分な調査とアンケートに基づいて市民の声を反映して進めてほしい。また、将来の学校規模、位置を決める重要な取り組みであり、十分に議論を尽くしてほしい。

**高齢者等生活支援**

**答** 高齢者と障がい者の方を合わせて1000名程度を見込んでいます。なお、1月から開始して現在のところ高齢者3名と障がい者1名の計4名が対象となっている。周知については、基本的に要介護、要支援、障がい者の方であるので、それらの方の生活状況、家族状況等を把握している居宅介護支援事業所のケアマネジャーを通じて周知している。加えて地域包括支援センターも通じて周知するが、潜在的な方もいると思われるので、広報紙等でも周知していく。

**意見** もう少し条件を緩和して、必要な人が制度を利用できるように見直しをしてほしい。また、制度の理解が十分でないこともあると思うので、周知徹底を図るべきである。

**問**

高齢者等のごみ出し支援戸別収集業務について、何人を見込んでいますか。また、周知をどのように考えているか

**畑作生産振興**

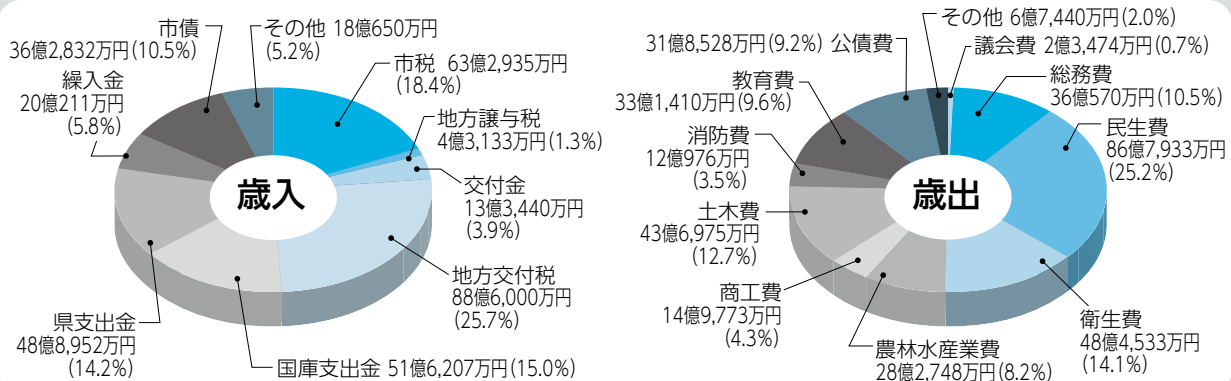
**答** 生産者がきゅうりを持ち込めば、選別から箱詰めまでを自動で行う仕組みとなっている。使用料は発生することになるが、大幅に労力と作業時間を短縮することができるので、その労力を作付面積の拡大や栽培のほうに回ることができる。

**意見** きゅうり選別機導入に対する補助の財源は全額県補助金であるが、園芸施設整備事業補助は園芸振興の目玉となる事業であり、もっと市単独事業のメニューを増やし推進していくべきである。

**問**

園芸施設整備事業補助により導入するJAのきゅうり選別機は、農家の方がどのような形で利用するのか

令和2年度一般会計 当初予算 344億4,360万円



議案第29号 令和2年度二本松市一般会計予算 など市長提出議案45議案

## 新年度各会計予算案、出産祝金支給条例や市営住宅管理条例等の一部を改正する条例等を可決

令和2年度各会計予算案は、予算審査特別委員会において延べ7日間にわたる審査が行われた後、本会議で可決されました。令和2年度の一般会計当初予算総額は344億4,359万7千円で、令和元年台風第19号による災害復旧関連経費に6億1,854万4千円を措置したことなどから、前年度対比2億3,914万6千円、率にして0.7%の増となりました。

このほか、少子化対策の一環として多子世帯の出産を支援するため、出産祝金の額を第2子は5万円、第3子以降を10万円に増額するための条例の一部改正や、市営住宅入居時における連帯保証人規定の見直し等の条例の一部改正についても審議され可決されました。

議案第18号 令和元年度二本松市一般会計補正予算

## 国の補助金などを活用した補正予算案を可決

国の「学校情報通信技術環境整備費補助金」を活用した<sup>ギガ</sup>GIGAスクール整備事業では、市内の小中学校児童生徒に1人1台のタブレット端末整備を行うもので、9億2,680万3千円の措置などを盛り込んだ補正予算案を全会一致で可決しました。

その他、台風第19号により被災した集会施設の修繕費等に対する助成や油井小学校増築に係る工事費等で、補正予算の主なものは下記のとおりです。

- |                              |           |
|------------------------------|-----------|
| ○ <sup>ギガ</sup> GIGAスクール整備事業 | 9億2,680万円 |
| ○油井小学校増築に係る工事費等              | 3億1,012万円 |
| ○ため池等放射性物質対策事業費              | 5,800万円   |
| ○集会施設の修繕費等に対する助成             | 1,280万円   |



ため池の放射性物質除去対策工実施の様子

## 人権擁護員候補者の推薦

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 堀川 英二さん (小沢・再任)  | 佐藤 芳邦さん (渋川・新任) |
| 斎藤 春男さん (百目木・再任) | 菅野 修司さん (太田・再任) |

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第1号	二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例及び二本松市議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第2号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第3号	二本松市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第4号	二本松市監査委員条例及び二本松市が経営する企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第5号	二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第6号	二本松市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第7号	二本松市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第8号	二本松市出産祝金支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第9号	二本松市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第10号	二本松市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第11号	二本松市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第12号	二本松市行政財産使用料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第13号	二本松市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第14号	二本松市営住宅管理条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第15号	二本松市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	原案可決
第16号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
第17号	損害賠償額の決定について	原案可決
第18号	令和元年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第19号	令和元年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第20号	令和元年度二本松市土地取得特別会計補正予算	原案可決
第21号	令和元年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計補正予算	原案可決
第22号	令和元年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第23号	令和元年度二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第24号	令和元年度二本松市安達下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第25号	令和元年度二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第26号	令和元年度二本松市工業団地造成事業会計補正予算	原案可決
第27号	令和元年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第28号	令和元年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第29号	令和2年度二本松市一般会計予算	原案可決
第30号	令和2年度二本松市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第31号	令和2年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第32号	令和2年度二本松市介護保険特別会計予算	原案可決
第33号	令和2年度二本松市土地取得特別会計予算	原案可決
第34号	令和2年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決
第35号	令和2年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計予算	原案可決
第36号	令和2年度二本松市茂原財産区特別会計予算	原案可決
第37号	令和2年度二本松市田沢財産区特別会計予算	原案可決
第38号	令和2年度二本松市石平財産区特別会計予算	原案可決
第39号	令和2年度二本松市針道財産区特別会計予算	原案可決
第40号	令和2年度二本松市工業団地造成事業会計予算	原案可決
第41号	令和2年度二本松市宅地造成事業会計予算	原案可決
第42号	令和2年度二本松市水道事業会計予算	原案可決
第43号	令和2年度二本松市下水道事業会計予算	原案可決
第44号	工事請負契約の締結について	原案可決
第45号	二本松市安達処理区及び岩代処理区下水道条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	原案可決

○議員提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第1号	国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	採 択
第2号	国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する請願書	採 択



# 常任委員会の審査報告

## 総務市民常任委員会

### 一般会計補正予算について

**問** 地域振興整備基金積立金の増について、ふるさと納税の増によるものとのことであるが、その要因は。

**答** 昨年の台風第19号の被害に対する支援ということで増えた部分がある。また、掲載しているふるさと納税サイトの数を1つから3つに増やしたことも要因として挙げられる。さらに、人気の高い返礼品となっている牛肉を導入したことによる効果も大きい。

**問** 被災集会施設整備費補助金を活用する見込みの集会所は何箇所あるか。

**答** 各行政区等に確認し、10箇所で見込みとなっている。そのうち、建物に被害があったところは3箇所、敷地に被害があったところは6箇所、建物と敷地両方に被害があったところは1箇所である。

**意見** 相当数の繰越明許費があるので、スムーズに事業に着手し、初期の目的が達成されるよう事務を進めていくこと。



机上審査の様子

## 産業建設常任委員会

### 一般会計補正予算について

**問** 新規就農者支援事業について、新たに3名が採択となった農業次世代人材投資資金は、どこの地区の方で、どんな作物に取り組む計画なのか。また、中間管理機構を通さずに農地を貸し借りした場合は対象とならないのか。

**答** 二本松地域の原瀬地区の方が1名、安達地域の上川崎地区の方が1名、東和地域の針道地区の方が1名となっており、水稲、きゅうり、施設野菜に取り組む計画である。また、中間管理機構を通さない場合には、その地域の人・農地プランの中で担い手に位置付けられていることが要件となる。

**問** 社会資本整備総合交付金事業について、繰越となる若宮・鉄扇町線の完了予定はいつ頃になるのか。

**答** 岩掘削に相当の日数を要しており、夏ぐらいま

でかかる可能性がある。その後、橋の設置工事となるため、工期は年度末まで延長せざるを得ない。



机上審査の様子

2月28日に付託された各議案は、3月12日から17日にかけて各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日18日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

## 文教福祉常任委員会

### 出産祝金支給条例の一部を改正する条例制定等について

○二本松市出産祝金支給条例の一部を改正する条例制定について

**問** 祝金支給額を決める過程で、1子目から引き上げる議論はなかったか。

**答** 他市町村の事例も参考としたが、その中で1子目については、これまでどおりお祝い金として支給し、多子世帯に重点を置く配分とした。

○令和元年度二本松市一般会計補正予算

**問** GIGAスクール整備事業について、事業の今後の見通しについてはどうか。また、対象者全体にいきわたるまでに、今後要する事業費はいくらになるのか。

**答** タブレット端末を小中学生用に配備する計画であり、国の標準的な計画に基づいて、令和5年度までに導入を完了する予定で進めていく。令和元年度予算は小学5・6年生、中学1年生分を見込んでいる。令和3年度で中学2・3年生分、令和4年度で小学3・4年生分、令和5年度で小学1・2年生分

を配備する計画である。

また、令和3年度以降は、タブレット端末の購入のみの予定で、令和3年度が1億4,376万円、令和4年度が1億2,411万円。令和5年度で1億1,575万円の事業費を予定している。



机上審査の様子

#### 議会豆知識

## 請 願 ・ 陳 情

◎ 「請願」「陳情」ってよく聞きますが、どういうものの？

▲ 市民の皆さんの要望を市政に反映させる方法の一つに「請願」や「陳情」があります。市民の皆さんに限らず、どなたでも市政への要望などを請願書や陳情書として議会に提出することができます。

◎ 「請願」と「陳情」の違いは？

▲ 議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」と言い、「請願」は委員会で審査され、本会議で採択・不採択を決めます。

本市では、「陳情」は内容によって「請願」と同じ取り扱いにするかなどを議会運営委員会で決定し、「請願」扱いにならなかった「陳情」は陳情書の写しを全議員に配布することとなります。

◎ 「請願」が採択されたら、どうなるの？

▲ 採択されたものは、市長にその実現を要望したり、国や県、関係機関に意見書などを提出したりします。

◎ 提出の方法は？

■ 提出場所 二本松市役所5階 議会事務局

■ 受付締切 定例会開会日の概ね5日前の午後5時まで

※3月、6月、9月、12月の定例会で審査されます。締切日を過ぎた場合は次回の定例会扱いとなります。

■ 問合せ先 議会事務局（電話0243-55-5144）

（記載例）

<p>（表紙）</p> <p style="text-align: center;">請 願 書（陳情書） ○○○○○に関する請願書</p> <p style="text-align: center;">紹介議員署名 （または記名押印）</p>	<p>（内容）</p> <p>件名 請願の趣旨 理由</p> <p style="text-align: center;">年 月 日 請願者住所 氏名 印 二本松市議会議長 様</p>
--	---

◎ 紹介議員の署名か記名押印が必要です。

# 代表質問・一般質問

## 市の明日を考える!

3月定例会では、5会派5人の議員が市政に対する代表質問を行いました。  
また、引き続き15人の議員により一般質問も行われました。  
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧くださいます。

[発言順]



### 野地 久夫

[市政刷新会議]

**問** 二本松城跡資料調査業務の目的は。

**答** **部長** 三の丸御殿復元を含め丹羽氏時代の遺構を中心に整備することを計画している。

**問** 三の丸復元に向け資料収集等元年度成果は。

**答** **部長** 210団体にアンケート調査したが三の丸御殿の新たな資料は無かった。

**問** 市長は文化庁を訪ね復元の成果はあったか。

**答** **市長** 二本松城の歴史や三の丸御殿の復元に向け説明し、現在も協力を願っている。

**問** 市長は文化庁での成果を述べないので、文化

### 二本松城跡資料調査業務（三の丸御殿復元資料調査業務）について問う

庁での成果はないものと思われる。それでは、三の丸復元に資料や文献等何が必要なのか。

**答** **部長** 発掘調査の成果、図面（平面図、立面図等）、写真は最低限必要である。

**問** その必要な資料等は何が揃っているのか。

**答** **部長** 発掘調査で丹羽氏の居屋敷の存在が判明している。写真は無い、図面は絵図がある。

**問** 三の丸復元に向けた重要な資料は無いと言われるのでは。令和2年度の調査内容は何か。

**答** 元年に出来ない事項をしっかりと取り組む。

### 代表質問

### GIGAスクール整備で教職員の専門性の発揮は

### 二本松駅南住宅団地の規模及び進捗状況は

**問** 子どもたちが人との関りの中で豊かに学び、教職員が専門性を発揮するには、コンピューターではなく、教職員を増やすことでは。

**答** GIGAスクール構想を前向きに受け止め、子どもたちが学習の手段として自ら取り入れ、学びを深めていくような教育実践を目指したい。

**問** 安達地区特別支援学校整備の今後の方向性は。  
**答** 令和2年度に旧建設技術学院解体及び敷地造成測量設計業務委託、令和3年度に造成工事を行う。県教育委員会は現在、基本計画を策定中で



### 平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

あり、今後、地質調査、基本設計の後、実施設計・建築工事の予定と報告を受けている。

**問** 駅南地区整備事業に合わせた住宅団地の規模や今後の計画は。

**答** 住宅団地の計画面積は全体で約1.35ha、宅地は34区画ほどで、面積は約7,700㎡。道路や公園・調整池などの公共面積は約5,800㎡の予定。令和元年度は造成設計、令和2年度は用地買収及び物件補償を予定し、令和3年度は造成工事、令和4年度は分譲開始する予定。





## 本多 俊昭

[令和創生の会]

代表質問

### 助産所設置を検討する考えは

#### 二本松駅連絡通路に橋上改札の考えは

**問** 産科医師確保が困難である場合、医師確保から普通分娩のみではあるが、「産めるまちづくり」を目指して、助産師を活用した助産所設置の考えについて伺う。

**答** 過去に本市でも検討を行った経緯はあるが、異常分娩や容体の急変等への対応を想定した場合、対応できる医療機関が市内にないなど、高いリスクを伴うことから、助産所の設置については、現時点では考えていない。

**問** 二本松駅南地区整備計画では、安達駅と同様に

利便性を考え、連絡通路内に橋上改札を設置する考えについて伺う。

**答** 現在の整備計画では、駅南広場から駅北広場を結ぶエレベーターを併設した自由通路を計画している。駅利用者の利便性向上を目指し、安達駅のような橋上改札についても、自由通路からホームに降りられる橋上駅が可能かをJR東日本と協議を開始したところである。今後も引き続き、整備に要する費用や条件などJR東日本と協議を重ねながら検討していく。

代表質問

### 最終年度を迎える新総合計画の達成率は

#### 幼稚園と保育園の合併は

**問** アクションプラン基本目標4つについて、達成率はどのようになっているか。

**答** 「子どもや若者の未来を創るまち」では、概ね目標達成が見込まれる状況である。「郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち」では、観光客やI・J・Uターンは、目標を達成している。新規創業、就農はあと一歩という状況である。「いつまでも元気で生きがいのもてるまち」では、健康スポーツ、図書館貸出冊数は6割から8割の達成状況になっている。「助け合い、



## 平塚 與志一

[真誠会]

支え合い、安全に安心して暮らせるまち」では、医療福祉、安全安心なまちづくり、ごみの排出、交通事故抑制の達成率は80%である。

**問** 幼稚園と保育園を合併させることはできないか。

**答** 国の一定基準を満たした場合、既存の保育所・幼稚園に相互の機能を持たせることは可能である。これが、認定こども園となれば、子育て支援センターを設置し、子育ての相談、情報提供等を行うことが必要になる。



## 安齋 政保

[市政会]

代表質問

### 水道事業の状況は

**問** 上水道第6次拡張計画の完了年度はいつか。

**答** 令和6年度完了を予定しているが、現計画事業を実施しながら、水道未普及地域解消に向けた事業が、現計画の中での変更で対応できるか、もしくは新たな計画の中で対応していくのか、現在、調整中であり、完了年度については、それによって変動する可能性がある。

**問** 上水道未普及地域解消の政策は。

**答** 現在各家庭で使用している井戸水の水質や水量の関係から、早急に安全で安定した水道水

に切り替えが必要な地区から取り組む必要があると考えている。なお、水道給水区域外での井戸ボーリング補助は、次年度から補助内容の拡充を図り受益者負担の軽減と生活用水の確保に努めていく。

**問** 水道料金統一をどう進めていくのか。

**答** 総合的かつ慎重に検討しなければならない課題であり、当初予定していた令和2年度での改定は見送る方向で検討していきたいと考えている。

一般質問

## 防災ハザードマップの活用は

### 新型コロナウイルス発症時の対応は



**坂本 和広**

[真誠会]

- 問** ハザードマップの想定雨量基準は。
- 答** 最大想定降雨量を「2日間総雨量323mm」として洪水浸水想定区域を表示している。
- 問** ハザードマップ活用の働きかけは。
- 答** 昨年は市内4か所で住民説明会を開催し、その後も行政区からの要請に応じて説明会を開催し、参加総数は411人となっているが、さらなる働きかけの必要があると認識している。
- 問** 市として疾病発症時の処の方針は。
- 答** 市民の感染者情報を把握した場合は、市民が

感染した旨の情報提供を行うとともに、さらなる予防の徹底を促していきたい。

- 問** 疾病を感じた際に市民が行うべき行動の周知方針は。
- 答** 帰国者・接触者相談センターにご相談いただくよう、防災ラジオや市公式SNS、広報にほんまつ添付資料にて周知を図っている。
- 問** マスク、消毒薬等の備蓄品内容は。
- 答** 災害発生時に避難所での感染症対策として、最低3日分以上を備蓄している。

一般質問

## 本市が考える居住誘導、都市機能誘導とは

### 浸水被害対応で内水ポンプの検討結果は



**鈴木 一弘**

[市政刷新会議]

- 問** 本市が考える居住誘導区域、都市機能誘導区域とはどのようなもので、誘導するために行っている施策は。
- 答** 「二本松市立地適正化計画」は、人口減少、少子高齢化が進む中、高齢者や子育て世代が安心して健康で快適に生活できる環境を実現するため、医療・福祉施設・住居等がまとまって立地し、市民の皆さんが公共交通により容易にアクセスできる持続可能な都市を目指すもので、「空き家、空き地、空き店舗の流

通・活用」や市が実施する関連事業などを活用し、理解を得ながら緩やかに進めていく。

- 問** 浸水被害に対応する内水ポンプの設置はどのように検討がなされたのか。
- 答** 現在の補助金を活用した導入は難しいところであるが、内水被害は全国的なものでもあることから、補助メニューが制度化される可能性も考え、引き続き導入の可能性について検討を進めていくと共に、移動式排水ポンプの配備強化を強く要望していく。

一般質問

## 台風19号被害の復旧状況は



**佐久間 好夫**

[真誠会]

- 問** 公共災害復旧事業の査定と工事発注状況は。
- 答** 1月末現在11次査定まで終了、道路44箇所、河川19箇所、橋梁6箇所の計69箇所の査定が終了し、実施設計後工事発注となる。また、農業施設は4施設、林道施設は14施設で災害査定は終了した。
- 問** 公共災害復旧事業以外の単独災害復旧工事及び修繕箇所は。
- 答** 約900箇所です。1月末まで413件発注しており、残りも今後発注見込みである。

- 問** 市道と林道の通行止め区間は。
- 答** 市道は、二本松5路線、安達4路線、岩代12路線、東和10路線の計31路線、林道は岩代3路線、東和5路線で、今後、早期通行止め解消に向け、災害復旧工事発注に努める。
- 問** 河川沿い農地の堆積土砂等の撤去策は。
- 答** 農地等小規模災害復旧補助金を活用して、個人復旧か共同施工、業者依頼等で対処願いたい。
- 問** 家屋倒壊や水害等による現在の避難状況は。
- 答** 19世帯52名が避難を行っている。



齋藤 徹

[市政刷新会議]

一般質問

## 薬物乱用防止の取組みは

### 観光振興に共通割引チケットは

**問** 本市の小中学校における薬物乱用防止教室の開催状況と教職員の研修について伺う。

**答** 警察職員、学校医、保健所職員等を講師に迎え全ての小・中学校で正しい知識や判断力等を育成する教育を行っている。養護教諭に対する研修会は昨年12月に行った。情報モラル教育の充実についても各学校に指導していく。

**問** 観光客の市内回遊を促すために、二本松城文化観光施設（仮称）や菊人形、大山忠作美術館、智恵子記念館等の共通割引チケットを販売でき

ないか伺う。

**答** 指定管理団体が異なるため、研究課題とする。  
**問** 民法改正による公営住宅の現状回復義務の範囲と連帯保証人について伺う。

**答** 退去時に入居者が行う修繕は、軽微なものなので引き続き同様の対応とする。連帯保証人については、既住者は改正前条例の適用、新規入居者は改正後条例の適用で、連帯保証人は2人から1人になり、極度額は入居時の住宅使用料の12ヶ月分とする。

一般質問

## 安達ヶ原の道路行政は

### 阿武隈川流域の防災対策は



佐藤 有

[真誠会]

**問** 主要市道平石高田・安達ヶ原線の歩道設置は。

**答** 一級市道で交通量も多く全線が通学路であり、高田からあだたら荘入口までは歩道が設置されているが、安達ヶ原交差点までは歩道がない。今後の歩道整備計画の中で、交通量、緊急性も含め、財政計画を十分考慮し検討する。

**問** 危険箇所安全対策について伺う。

**答** 安達ヶ原三丁目2号線が交わる交差点は、築堤工事の嵩上げで車両確認がしにくいいため、現地調査を実施し対応策を研究していく。

**問** 河川改修を国県に要望できないか。

**答** 改修促進期成同盟会として毎年要望しており、今年度は堤防の強化・樹木の伐採・河道掘削、点検・維持管理の強化、安達・東和地区の治水対策、油井地区における内水対策、弘川・安達太田川・小浜川・轟川の河川改修の促進と堆積土砂の撤去等要望した。

**問** 排水ポンプの維持管理について伺う。

**答** 樋門管理は河川事務所任命の操作員が毎月点検、震度5以上の地震で出勤し点検を行う。



堀籠 新一

[真誠会]

一般質問

## まち・ひと・しごと創生総合戦略の今後は

### 地域医療の充実と医師確保対策は

**問** 創生総合戦略の取組みでの課題と、戦略の施策を絞り込み成果を上げる取組みは。

**答** 課題は出生数が減少していることと、生産年齢人口が減少し地域社会と地域経済の担い手不足が深刻となっている。一次評価二次評価を実施して優先的に取り組むべき重点施策に集中的に予算を配分し成果を上げていく。

**問** 本市の限界集落と準限界集落の実態は。

**答** 平成31年4月1日で限界集落が18行政区で、準限界集落は202行政区である。

**問** 二本松市岩代国民健康保険診療所の後任医師確保の見通しと今後の対応を伺う。

**答** 地域に欠かせない重要な医療機関と認識しており、本人の同意が前提であるが、定年後の延長が可能となっており、地元からの信頼も厚い現医師のご理解とご協力により、令和2年度の勤務の確約をいただいているところである。今後の取組みは、医師向けの求人情報「ドクターバンクふくしま」の登録や専門誌への広告掲載による医師確保対策に取り組んでいく。



一般質問

## 公的病院再編統合問題での市長の見解は



## 高校統廃合問題での市長・教育長の認識は

**菅野 明**

[日本共産党二本松市議団]

**問** 国の公的病院の縮小再編の中に、JCHO二本松病院が含まれている。地域医療充実のため、二本松病院の役割は大きい。この間の産科医確保の取り組みと、この問題での市長の見解は。

**答** 昨年厚労省の発表は地元自治体に前ぶれなく、突然の一方的公表で、自治体と住民に動揺が広がり、公表された病院にも風評被害が出ており誠に遺憾である。市としては地域医療に欠かすことの出来ない医療機関と認識している。医師確保については、修学資金貸与の申請が1

名あり貸与を開始した。さらに産科医師確保に努めていく。

**問** 地元の安達東高校と二本松工業高校の統合について、県の立場は「統合ありき」との印象を強く感じた。市長、教育長の現在の認識は。

**答** **市長**「市内3高校存続で議論を進めるべき」との一貫した基本的考えに変わりはない。

**教育長**「これまで述べてきたとおり卒業生、在校生はじめ、市民にとっても甚だ遺憾である」と言わざるを得ない。

一般質問



**小林 均**

[令和創生の会]

## 「新型コロナウイルス」への具体的対策を

## 「GIGAスクール構想」の早期整備の実現を

**問** 市内で新型コロナウイルスの感染者が実際に発生した場合の具体的対応策について伺う。

**答** 市民への正確な情報提供（防災ラジオ・市ウェブサイト・チラシ全戸配布）、予防対策の徹底、適切な医療受診、市行政機能の維持、会議・イベント等の自粛、市内施設の運営・利用に関すること等を想定。「新型コロナウイルス市内対策会議」を立ち上げ、必要な対応を協議する。

**問** 文科省が打ち出した、子ども1人1台のコンピューター端末整備をし、ICTを利用した創造性

を育む「GIGAスクール構想」の実現は。

**答** 令和2年度には小学校5、6年生と中学校1年生全員のタブレット型端末と高速通信ネットワーク環境を整備し、令和5年度までの4年間で全小中学校生徒に整備したいと考えている。

**問** 教師がICTを効果的に活用できる取組みは。

**答** 教職員向けのICTスキル研修を5回実施する。

**問** 特別支援教育におけるICT活用の取組みは。

**答** デジタル教科書等のICT活用により、特性に応じた学びやすい環境になることが期待できる。

一般質問

## 出産祝金第2子以降増額の目的は



## 阿武隈川沿いの内水対策は

**小野 利美**

[市政会]

**問** 第1子から増額すべきと思うが市の考えは。

**答** 新年度の出産祝金の改正は、第2子目に5万円、第3子目以降に10万円を支給し、多子世帯の経済的負担を軽減することで、第2子以降の出生数の増加につながることを期待するものであり、第1子への祝金はこれまでどおり1万円を支給することをご理解をいただきたい。

**問** 国県市道に面する斜面の調査と対応策は。

**答** 毎週、道路パトロールの中で路面の状況、法

面の異常、危険箇所がないか確認をしている。今後も事故が起きないように道路パトロールを強化する。

**問** 固定型排水ポンプの設置は難しいのか。

**答** 堤防天端の嵩上げ工事や堤防の強度工事が大きな課題となるが、国・県と情報共有を図り、整備について検討していく。併せて移動式排水ポンプ車の配備強化について、国・県等関係機関に対し強く要請していく。



**熊田 義春**

[市政会]

一般質問

## 市民との協働による地域づくり支援事業は

### 市立幼稚園と認定こども園の現状は

**問** 4地域別の事業件数は。

**答** 平成30年度の実績で二本松地区89件、安達地区34件、岩代地区29件、東和地区31件の合計183件である。次に、ソフト枠とハード枠を設けた令和元年度の実績で、ソフト枠が二本松地区61件、安達地区16件、岩代地区20件、東和地区23件の合計120件である。また、ハード枠は、二本松地区31件、安達地区12件、岩代地区12件、東和地区19件の合計74件であり合計で194件である。

**問** 令和2年度の幼稚園児と認定こども園児の新規見込数は。

**答** 令和2年度において、はらせ幼稚園と小浜幼稚園を休園とさせていただき、この2園を除いた7園の合計で総園児数109人となる見込みである。認定こども園については、施設数に変更はなく、総園児数は158人で、このうち1号認定にあたる総園児数は49人となる見込みである。

一般質問

## 二本松市の良好な市街地の形成事業は

### 市内3駅周辺の整備事業は



**平栗 征雄**

[市政刷新会議]

**問** 安達駅西地区の道路改良の予算執行と進捗状況について伺う。

**答** 令和元年度は、2件の用地買収と2件の物件補償の契約を結んだ。令和2年度は、道路用地取得として、物件補償費を含め7,300万円の予算を計上している。まずは、歩行者等の安全確保を図っていく。

**問** 二本松駅南地区の開発について伺う。

**答** 説明会は6回、意見や希望は戸別訪問で聞き、その後、道路の線形や高さ、移転先の相談を

受け計画に反映している。また、広場面積は約4,000㎡で、接続道路は約321m、幅員12mである。現在は駅南広場と接続道路の実設計計を行なっている。駅南から線路沿いの市道市海道・冠木線の整備は、事業に含まれていない。

**問** 杉田駅周辺の整備事業について伺う。

**答** トイレ設置については、令和2年度に駅前広場と併せて施工していく。また、駅北側にある作田・北杉田12号線の踏切改良は、今回の事業には含まれていない。



**石井 馨**

[令和創生の会]

一般質問

## デマンドタクシーの利用者の立場で改善を

### 中山間地域への補助金配分を優先すべきでは

**問** デマンドタクシーの自宅前乗車の改善は行われているか。また、広域連携を見据えて隣接市町村との相互乗り入れについて検討すべきでは。

**答** デマンドタクシーは玄関前乗車で運行を行っているが、道路が狭い地域では玄関まで行けない場合がある。今後、車両の大きさを含め改善を検討していく。広域での運行については福島圏域の会合でコミュニティバスの運行も含めて検討していく。

**問** 市民との協働による地域づくり支援事業補助金

は、一部人口割が導入されているが、4地域の均衡ある発展という目的から中山間地域により重点配分すべきではないか。それが困難ならば、ソフト事業も市全域での採択とすべきではないか。

**答** 市民との協働による地域づくり支援事業補助金は、各地域の特色を考慮し、4地域の均衡ある発展と人口規模を考慮し、決定している。ソフト事業は、地域の特色を生かす観点から、地域別としている。

一般質問

## 所有者不明土地問題は

### 太陽光発電の農地活用は



佐藤 運喜

[市政刷新会議]

**問** 農地集積を阻害する不在地主と相続未登記等の土地問題の中で、不在地主のために利用権が設定出来なかった事例は何件あったのか。

**答** 2018年法改正後（農業経営基盤強化促進法及び農地法）は、20年以内の利用権設定が可能となった。本市においては農地集積中でもあり、これらの事例、取り扱いは今まで無かった。

**問** 現在までの申請許可件数、営農面積と農地転用面積、発電内容と農業委員会の見解は。

**答** 許可件数は3件で営農面積は32a、一時転用面

積は5.6㎡である。農業委員会の見解は、環境対策、地産地消としての再生可能エネルギー活用は意義ある有益な事業として捉えている。

**問** 学校周辺立木の手入れ等の予算配分と内容は。  
**答** 植木手入れ委託料として一律5万5千円を配当し、臨時経費を予算措置等で対応する。

**問** 地域安全パトロール隊等の増強は図れないか。  
**答** 隊員、交通専門員の後任者選出に苦慮しているが、警察署等と連携し交通安全や地域の安全確保を図り、人員確保に向け検討していきたい。

一般質問

## 市道県道針道字町交差点の整備改良は

### 公道敷地内の未登記土地解消の取組みは



佐藤 源市

[市政刷新会議]

**問** 市道字町・五反田線と主要地方道県道原町・二本松線の針道字町交差点改良整備は。

**答** 県に毎年要望し合同調査等を行ってきた。さらに地元の皆様から交差点改良の要望書の提出があり、市も改良整備の必要性は十分認識している。今後も県に対し要望する。

**問** 都市再生整備計画事業、旧まちづくり交付事業での改良整備は出来ないか。

**答** 国土交通省都市局の補助事業であり、当該箇所への導入は難しいものと考えている。

**問** 市道敷地内にある未登記土地件数及び未登記土地解消への取組みは。

**答** 市道総延長約2,040kmと長大な延長であり、未登記案件の全ての把握には至っていない。解消として相続手続き完了済は随時、抵当権は専門家のアドバイスをもらい移転登記を進め、分筆の測量費を含めて市で対応している。

**問** 国県道敷地内の未登記土地の解消は。  
**答** 所有者からの申し出は、速やかに対応する。また機会をとらえて、国県に対し要望していく。

一般質問

## 国保税子どもの均等割全額免除へ

### 市営住宅の連帯保証人規定の改正は



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

**問** 国保税は子ども一人当たり32,400円の均等割が賦課される。均等割全額免除実施と経過は。

**答** 他の社会保険の保険料は収入に応じて決定されるが、国保税の均等割は収入のない子どもを含めた人数に応じて賦課される。子どものある世帯の滞納は1,307万円。全国市長会でも国に対し財源措置を要望してきた。18歳以下の子どもの均等割全額減免は458世帯752人で1,822万円。収入400万円・夫婦と子ども3人の場合、引き下げ率は21.6%になる。

**問** 今年4月の民法改正を受け、国交省が全国の自治体に連帯保証人の解消を通知。東京都、横浜市等が改定した。二本松市の方針は。

**答** 連帯保証人を現行2人から1人に改正。保証人の責任（極度額）は家賃の12ヶ月分で、滞納の抑止力の役割があり無くすることができない。保証人が見つからないとの理由での入居辞退者は、2年間で2件。家賃未納で保証人の資産を差押したことはない。令和元年度までの家賃滞納は156世帯で3,696万円である。



# 3月定例会賛否一覽

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	市政刷新会議					真誠会					市政会			日本共産党 二本松市議団		令和創生 の会			会派に ない議員		賛 成	反 対	
			野地 久夫	佐藤 運喜	鈴木 一弘	斎藤 徹	平栗 征雄	佐藤 源市	平塚 與志一	佐久間 好夫	佐藤 有	坂本 和広	堀籠 新一	安齋 政保	小野 利美	熊田 義春	斎藤 広二	菅野 明	平 敏子	本多 俊昭	小林 均	石井 馨			加藤 建也
議案第5号	二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	20	1
議案第30号	令和2年度二本松市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	20	1
議員提出 議案第1号	国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	18	3
請願第2号	国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	18	3

※○は賛成、●は反対、退は退席。 ※議長（本多勝実）は採決に加わっていません。

## 3月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

議案第5号 二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について  
議案第30号 令和2年度二本松市国民健康保険特別会計予算

### 賛成

斎藤 広二 議員

国保税の均等割は子ども1人当たり32,400円が賦課され、他の社会保険にはない制度。子どもの均等割全額減免対象者は、458世帯752人。財源は国保基金6億円のうち1,822万円を充てるもの。全国で35市町村、県内で3市が既に実施。全国市長会は、子どもの均等割減免と財政支援を国に要望している。

国の1兆円支援により、国保税負担は半額近くになる。令和2年度、国の予算は102兆円。その1%弱の支援で全国1,874万世帯、3,013万人の負担が軽減され、生活が守られる。今こそ、国の役割発揮を求め賛成とする。

### 反対

加藤 建也 議員

必要とされる財源について、国保の財政調整基金から繰り入れすることに問題がある。基金は国保財政が赤字に陥った時に取り崩し、安定した運用を図るためにある。

「基金が底をついたら一般会計から繰り入れをする」と委員会での答弁があったが、一般会計から市独自の税額減免のために、法律で決められている以外に繰り入れ出来るのか疑問である。これは国保加入者以外の一般市民の税金も投入することになり、その不公平が強く指摘されており反対する。

請願第2号 国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する請願書

### 賛成

石井 馨 議員

日本国憲法は世界で最も古い憲法となり、制定された昭和21年当時想定されなかった我が国を取り巻く国際状況の変化や国民の生活様式の激変に対応できているとは言えない現状で、様々な条文の不備が露呈している。世界の常識である緊急事態条項の規定がないことや、国家や国民の命を守る自衛隊が憲法違反との問題は早急に改める必要がある。国会において憲法論議を活発に行い国民の権利である国民投票を実施すべきと考え賛成する。

### 反対

菅野 明 議員

憲法は我が国の基本法であり、国会審議を経て制定され今日の日本社会を形成してきた。昨年12月の世論調査では、安倍政権下での憲法改正に反対が54.4%と過半数に上り、賛成31.7%を大きく上回った。内閣が取り組むべき課題で「憲法改正」との答えは、わずか5.2%。市民を代表する市議会が、国民、市民が求めている憲法論議推進の意見書提出は、適切ではない。未来を担う子ども達のためにも、本請願に反対する。

令和元年度の市議会議員研修会は、地元の二本松青年海外協力隊研究所を訪問しました。施設を見学した後、所長の富安誠司様より「JICA二本松の概要と地域のつながり」と題して講演をいただきました。

講演では、JICA 二本松の沿革や概要などのほか、訓練生がボランティアとして必要なコミュニケーション能力等の資質を養うため、市内の幼稚園や老人ホーム等で二本松市民と世代や立場を超えた交流を図っていることなどのお話をいただきました。青年海外協力隊と市民、議会、行政がより一層連携し取り組む必要性と国際協力について理解を深めました。



講師のJICA二本松 富安 誠司 所長

全国からの視察団を受け入れました

令和元年度行政視察受入状況

令和元年度は、全国から6団体・43名の行政視察を受け入れました。

視 察 日	団 体 名		人数	調査項目
令和元年5月14日	岐阜県恵那市議会	新政会等	13	・全国さくらシンポジウムについて ・6次産業について(ふくしま農家の夢ワイン株)
令和元年7月11日	埼玉県富士見市議会	21・未来クラブ	7	・mamaになるならにほんまつ
令和元年10月1日	福井県坂井市議会	志政会	6	・にほんまつDMOの活動について
令和元年10月24日	茨城県美浦村議会	総務経済委員会	9	・六次産業化の取り組みについて
令和元年10月28日	富山県富山市議会	社会民主党議員会	3	・ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会の運営について
令和元年11月19日	島根県飯南町議会	教育経済常任委員会	5	・六次産業化の取り組み ・耕作放棄地解消への取り組み

義援金をいただきました

令和元年台風第19号被害



大玉村議会 菊地 利勝 議長 (写真左)

11月7日、大玉村議会の菊地利勝議長が来松され、台風第19号による災害で被害を受けた本市に対し、大玉村議会からの義援金をいただきました。

また、全国の市議会や全国市議会議長会及び福島県市議会議長会からも義援金や見舞金をいただいております。ありがとうございました。

## 議場を見学しました

1月29日 石井小学校6年生のみなさん

石井小学校6年生22名のみなさん（見学当時）が議場を見学しました。議員席や当局席に座ってみたり、起立採決を行うなど本番さながらの様子でした。



## 二本松市議会災害対策会議を設置しました

二本松市議会では新型コロナウイルスの感染拡大による様々な問題に対応するため、4月14日、二本松市議会災害対策会議を設置しました。災害対策会議は、自然災害のほか、新型インフルエンザなどの感染症等により大きな被害が発生した場合などに設置することができるもので、主な所掌事務は次のとおりです。

- 情報を収集・整理し、市本部へ提供を行う。
- 市本部からの情報の報告を受け、議員へ情報提供を行う。
- 市本部へ要望及び提言を行う。
- 国、県、関係機関等に対し、要望活動を行う。

### みんなで徹底しよう

## 「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を **贈らない！**

有権者は政治家に寄附を **求めない！**

政治家から有権者への寄附は **受け取らない！**

### 寄附には次のものも含まれます。

- ・病気見舞い
- ・町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ
- ・お祭りへの寄附や差し入れ
- ・秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
- ・お中元・お歳暮・お年賀
- ・地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
- ・入学祝・卒業祝
- ・秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典
- ・葬式の花輪・供花
- ・落成式・開店祝の花輪

◎政治家（候補者、候補者になろうとする者、現に公職にある者）が選挙区内にある者に対して寄附をすることは、その時期や名義のいかんを問わず禁止されており、罰則の対象となります。

## お知らせ

次回の定例会は6月上旬に開会の予定です。

本会議は、当日住所と名前を記入するだけで傍聴できます。市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。皆さまお気軽に傍聴においでください。

市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。



### 市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5143（議会事務局）

FAX 22-6047

E-mail [gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp](mailto:gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp)



## 今月の表紙



二本松カトリック幼稚園卒園式

二本松カトリック幼稚園の卒園式は3月14日に行われ、ばら組の36名の園児達が卒園しました。

式では一人ひとり名前を呼ばれると大きな声で返事をし、園長先生から卒園証書を受け取りました。



ずっと友達だよ！



## 傍聴者の声

二本松商工会議所女性会 鈴木 美砂子 さん

二本松商工会議所女性会としては過去に何度か傍聴に伺っていましたが、自分としては初めての傍聴で、まず議場の持つ重圧感に身を正してしまいました。

質疑内容も今まさに、日本、世界をも揺るがしている新型コロナウイルスによる二本松でのオリパラへの影響など、直に足を運ばなければ得ることのできない内容の数々に、今更ながら「もっと多くの市民の皆さんにも体験してほしい」との思いを強くした次第です。



3月2日 二本松商工会議所女性会のみなさん

新殿地区老人クラブ 浦山 利一 さん

静粛の中開会された一般質問、市長答弁では「こども、若者、高齢者、全ての市民が主役、共に歩む市政」との答弁に共感し、貫徹を切望しました。

各議員の質問も今日の問題を的確に捉え、日頃の活動を推察しました。特に市民サイドの山積する医療、教育、災害等々の問題、全て即時実行は不可能です。内容を討議され順次実現してこそ、目指す二本松への前進です。

議会傍聴は臨場感を体得することができ、今後はさらに議会だよりを読み、市政への理解をより深めたいと思いました。



3月3日 新殿地区老人クラブのみなさん

福島大学 奈良輪 映香 さん

私は大学で教育学を中心に勉強しているため、特に、二本松市の教育の充実に向けた課題や子育て支援体制、学校における働き方改革などについて注目して傍聴しました。

学校や教育関係機関が話し合うような議題について、市民の代表である議員が現状と課題を提示し、政策内容について議論するというかたちを初めて目にし、市民が自分たちの力で身近な問題を解決していくという議会の本質を実感することができました。

東北福祉大学 小室 優香 さん

私は議会を傍聴するのが初めてでしたが、市の様々なことにたくさんの人が関わっており、話し合う内容も多岐に渡っていることを知ることができました。

まだ議会の仕組みについてわからないこともありますが、会期中に議案内容をよく聞いて調べながら学んでいきたいと感じました。また、議会傍聴によって自分が住んでいる町の議会にも興味が出てきたので調べていきたいと感じました。



3月18日 インターンシップの学生のみなさん

◇二本松市議会ウェブサイトでも、本会議の映像をライブ中継で配信していますので、ぜひご覧ください。



編集委員会  
委員長  
副委員長  
委員  
員

佐藤 運喜  
石井 敏子  
平井 好夫  
佐久間 敏子  
斎藤 徹  
坂本 和広



3月定例会では、市民の皆さんにとりまして大切な令和2年度の予算をはじめ、市民生活に関わる重要な議案を審議し、可決しました。特に予算については予算審査特別委員会を設置し、細部に渡って当局に対する質問・提言を行いました。

また、3月定例会では5つの会派による代表質問を行い、これからの市政に対する考え方を質問とともに、15名の議員による一般質問も多岐にわたる内容で行われました。詳細については市のウェブサイトで動画を見ることができ、これからの市民の皆さまに対して、わかりやすい紙面づくりをお願いいたします。

編集後記